

自律的な健康づくり～歯・口から全身へ～

あさひやま動物園で有名になった北海道旭川市にある、児童数419名の小学校です。

北海道旭川市立神居東小学校

選択課題

食べる機能や食べ方の発達支援を通じての実践的な歯・口の健康づくり

「歯・口」や「食」にまつわる話はだれもが持っていて、身近な教材として取り組みやすく、健康の大切さを訴えるには絶好の素材です。しかも、心や全身などとの関連も図ることができます。歯・口を窓口にして楽しく学ぶことによって、気づき、考え、行動し、そして伝えることのできる子どもたちを目指し、取組を続けています。

今年度の取組紹介

取組の一部を簡単に御紹介します。



6月「体のバランスと奥歯」

朝会時、体のバランスを取る時、自然に奥歯をかみ合わせていることを1年から6年まで全員で体験しました。



6月「おはなしの会」

絵本の読み聞かせボランティアのお母さん方に、「歯と口の健康週間」にちなんだ『ティップトップとわに』『たっちちゃん むしばだね』を読んでもいただき、歯の大切さを実感しました。

8月「夏休み弁当作りチャレンジ」

6年生の希望者で、合作の弁当を作りました。テーマは、「先生方に喜ばれる弁当」。初めての試みなので、少人数で行いましたが、計画、実習と2日間かけ、いざ、栄養、歯ごたえ、衛生面等に十分配慮して活動を進めました。弁当をプレゼントされた先生方からも大好評でした。冬休みはさらに発展させる予定です。



10月「ようこそ 歯のふしぎ博物館へ」

昨年度3月に引き続き、今年度も4年生が元岡山大学小児歯科の岡崎先生の授業を受けました。動物や食に関わる話が盛りだくさんの内容で、子どもたちは興味津々。クイズの解答を相談する場面では、皆目が輝いていました。「入れ歯を入れたロバの一文字号」のお話は特に印象に残ったようです。この日、授業参観に集まった管内の養護教諭も、子どもたち以上に授業に夢中になっていました。



10月「楽しく学ぼう！歯の健康づくり」出張講座

4年生は幸運にも、応募した日本学校保健会企画「楽しく学ぼう！歯の健康づくり」出張講座に当選。日本大学歯学部尾崎教授のガムを使った授業を受けることができました。授業中はピンクとブルー、給食後はグリーンで色が変わるガムを用い、よく噛めているか確かめました。噛むことはもちろん、食べる時の姿勢やむし歯予防等々、大切なことが確認でき、大いに意識づけができました。

